

平成29年度



赤木小だより

平成29年4月12日 No.2 文責 校長 鈴木 久

《教育目標》

『豊かな心と相互的な学力を身につけた、たくましい児童の育成』
あ 明るいあいさつをする子ども
か 考えをもって学び合う子ども
ぎ 気持ちよく運動する子ども

子どもが思う存分学べる学校づくりを、「赤木小子ども育成スタンダード」に基づき、取り組んでいきます！

教育理念

本校は、昭和7年開校以来、「至誠」「質実」「優雅」の精神を脈々と受け継いできた学校であります。

教育目標

教育理念に「自立と共生」を掲げ、伝統ある赤木教育の実践に取り組んでまいりました。

教育目標は「豊かな心と総合的な学力を身につけた、たくましい児童の育成」であります。「知」「徳」「体」の調和のとれた発達が遂げられるよう、子どもの可能性を最大限に引き出し、自己実現を図らせてまいります。



めざす子ども像

平成29年度重点「心・知恵・身体を磨く」

あ：明るいあいさつをする子 → あいさつを交わし、進んで行動する子ども
か：考えをもって学び合う子 → とともに学び、考えを言えて、聴ける子ども
ぎ：気持ちよく運動する子 → けんこうなからだをつくる子ども

赤木小子ども育成スタンダード

認知心理学

を踏まえた授業実践

- ・ 区別できる
- ・ イメージできる
- ・ 意味がわかる
- ・ 関連する世界が広がる

総合

探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む子ども

生活

活動や体験を通して、自分と身近な人々・社会や自然との関わりがもてる子ども

国語

実際の言語生活の場において、自分の意志で言葉で「話し、聞き、読み、書く」という言語活動を展開できる子ども

社会

社会的な事象や事実、歴史と積極的に関わり、みんなが幸せな社会を実現するための方法を創造的に考える子ども

アクティブ・ラーニングによる授業実践

- ・ 主体的な学び
- ・ 対話的学び
- ・ 協働的な学び
- ・ 深い学び
- ・ 問い続ける学び

算数

数学的に価値の高い、多様な見方・考え方をみんなで共有し、自分の生活や次の学習に生かす子ども

学級経営を基盤に

- ・ 助け合い
 - ・ 支え合い
 - ・ 学び合い
 - ・ 高め合う
- 子どもを育てる

自己をみつめ、物事を多面的・多角的に考え、自分の生き方についての考えを深める子ども

道徳

敬愛することやコミュニケーションすることの楽しさを味わうためのスキルを高める子ども

英語

子どもと目標を共有する取り組み

- ・ 単元テストの平均点85
- ・ 学力テストの偏差値60
- ・ アンダーアチーバー0
- ・ 読書量は1人年間60冊

体育

様々なスポーツや運動を通して、体力・運動能力を高め、健康な生活を送る子ども

家庭

衣食住に関する知識・技能や消費生活、環境に配慮した生活の仕方を実践する子ども

園工

自然環境や地域社会と関わり、自然の恵みや文化を大切にする子ども

理科

現象・現象を十分体験し、知識や理解を定着づけ、その過程を説明できる子ども

自らを磨く教師集団

- ・ 教師の力以上に子どもは育たない
- ・ 個を補い、個に応じ、個を生かす
- ・ 目配り気配り、そして手配り
- ・ 全ては未来を拓く子どもたちのために・・・

音楽

歌や楽器を演奏したり、鑑賞したりすることを通して、心と体を鍛え、表現力や創造性を高める子ども



支え合い、学び合い、高め合う子どもを育てます!

平成29年度

赤木小学校教職員 どうぞよろしくお願い致します。

校長 鈴木 久
 教頭 相樂 澄男
 教務主任 藤澤 由宗
 1年1組 國井美代子
 1年2組 伊藤佳也子
 2年1組 宗像 恵子
 2年2組 下重 俊子
 3年1組 伊藤 典子 (矢吹町立中畑小学校より)
 4年1組 豊田多香子
 4年2組 熊田 直美
 5年1組 大河原克則
 5年2組 渡部麻由子 (南会津町立館岩小学校より)
 6年1組 成田 和邦
 6年2組 平樂 裕美
 すみれ 橘内真知子
 養護教諭 早川 照子
 主査 長尾久美江
 主任務員 鈴木 義夫
 調理員 渡辺 容子 (郡山市立守山小学校より)
 調理員 伊藤 義典

特別支援補助員 斉藤 順子
 特別支援補助員 石田 博子 (大島小と兼務)
 学校司書 関根 美和 (新規採用)
 パート調理員 伊藤 美幸
 スクールカウンセラー 松尾 房恵
 外国人英語講師 ヘナレ・アクランギ
 待機調理員 市川 直子

